

2017年7月5日

日本共産党下関市議団  
団長 近藤 栄次郎 様

下関市議会議員 片山房一

## 出張報告書

下記のとおり、出張しましたので報告します。

### 記

期 日 2017年7月3日

出張先 リファレンス駅東ビル（福岡市博多区博多駅東1丁目16-14）

用 務 地方議員研究会主催の研修会参加のため

#### 研修内容の概要

「執行部（理事者）との議論に勝つ連続講座」のうち「キラリと光る質問原稿の書き方」の講座に参加した。講師は宮本正一（日本公共経営研究所代表）

#### 講座内容

前段 地方議員の政治活動と選挙活動

マイアミ大学パラスーラマン教授開発の「サービスチェックシート」

本論 1. 質問作成の基本

2. 押さえるべきポイント

3. 質問の扱われ方

最後に講師の好きな言葉

イギリスのベテラン市会議員の言葉

「市議議会議員は、背広を着てする仕事の中で、一番おもしろい仕事だよ。」

永六輔の言葉

「人間は二回死ぬ。一度は心肺停止のとき、一度は人の記憶から消え去ったとき。」

以上の順で講義が行われた。

受講の成果：以下のことが理解できた

- ・ 質問は、執行機関の所信を質したり、事実関係を明らかにするだけにとどまるものではない
- ・ 質問によって、政治責任を明らかにさせ、政策の変更、是正、新規の政策を採用させるなどの目的達成の手段でもある
- ・ 質問にあたっては、市の計画や戦略を土台にし、その土俵に乗って議論を組み立てることで、執行部とのかみ合った議論ができる。
- ・ 質問用紙を理解して質問と答弁がかみ合うように、通告内容には具体性が必要
- ・ 国の政策情報は、議員を介さず直接担当者に連絡した方が的確な情報が得られる
- ・ 年間の質問テーマを整理しておく
- ・ テーマに沿った過去の答弁記録を整理しておく

以上